

大 盤 石

八王子市立四谷中学校
学 校 だ よ り
令和7年11月17日



<http://hachioji-school.ed.jp/yotyj/>

いつまで人の^{せい}所為にしますか

校 長 長 田 克

今日は「所為」という漢字について話したいと思います。

この漢字を見たことがありますか？ この漢字は「所為 せい」と読みます。「人の所為にする」の「せい」です。

子供だけでなく、大人もそうですが、人間は結構わがままで、自分に原因があって謝ればすむことでも、自分の悪かったことは棚に上げて、ついこの「所為」を使ってしまっている人も多いのではないのでしょうか。

私がまだ担任をしていた頃、遅刻をしてきた生徒に「今日はなぜ遅刻をしたのか」とたずねたところ、「目覚ましをセットしたのにならなかった」「親が起こしてくれなかった」だから「鳴らなかった目覚まし時計が悪い」「起こしてくれなかった親が悪い」と言いました。自分のことは棚に上げて、遅刻した理由を「目覚まし時計のせい」「親のせい」にしているわけです。

皆さんも似たようなことをした経験はないのでしょうか？ では、なぜ人は「人のせい」にしてしまうのでしょうか。私自身も反省することが良くありますが、「人の所為」にするのは、怒られたくない、自分に自信がないなど、人のせいにしてしまったほうが 気が楽だという自分への甘えがそうさせているのかもしれません。

しかし、いつでも自分のことは棚に上げて、他人のせいばかりしていると、あの人は、あの子は本当にいつもわがままで、信用できない人と思われるようになってしまいます。いつも「人のせい」にばかりしないで、自分の過ちは自分に原因あることを素直に認め、「自分に厳しく、他人に優しい人」になってほしいと思います。

明日から期末テストが予定されています。勉強が分からないことをいつまでも人の所為にせず、今できることを精一杯やって、自分自身の目標に向け頑張してほしいと思います。そして、もう一度、自分の周りの人間関係をしっかり創りあげて、皆の力で、楽しい学校生活を送るようにしましょう。

合唱コンクールを通して

10月28日（火）に合唱コンクールが行われました。今年の合唱コンクールは50周年記念式典があったため、例年より1時間ほど遅れての開始になりました。合唱コンクールを通して歌だけではなく、学べることも多くあったと思います。

合唱が持つ最大の魅力は、やはり「たくさんの声が重なることで生まれる音色の美しさ」ではないでしょうか。一人ひとりの歌声は小さくても、たくさん集まって溶け合うことによって広がりや深みのある響きが生まれるのです。

でも、たとえみんなが同じことを同時に歌っていても、それぞれがバラバラなことを考えていれば、美しい響きは生まれません。抽象的な言い方になりますが、大切なのは歌う人みんなが「気持ちをひとつに揃える」ことです。

楽しい曲ならその楽しさを、悲しい曲なら悲しい気分を、全員が一緒に感じて歌うことで、はじめて聴く人の心に響く歌になるのです。

歌を合わせようとすると、自然と周囲のメンバーと協力しようという気持ち、つまり協調性が芽生えてきます。

この協調性は合唱という場だけではなく、いろいろな場面で生きてくるでしょう。たとえば「部活動」の場面など。目的をメンバー全員で共有する、それを達成するために互いに協力する…言うまでもなく、部活動においてはこういう協調性が必要になります。合唱に似ていると思いませんか？「人生における大切なスキルのひとつが、合唱を通して手に入る」と言っても、決して過言ではないのです。

みんなで同じ気持ちを共有して、ひとつのものを表現する「合唱」。合唱を通じてできた仲間とは、他とは一味違う強い結びつきができます。違う声、違う性格を持つ一人ひとりが、損得など関係ないところで気持ちをひとつにし、声を合わせる。全員の気持ちと声がぴたりと合い、美しいハーモニーができたときには、ぞくっとするような興奮と感動が得られます。

その興奮や感動をまたみんなで共有する…こんな密度の濃い体験は、合唱以外なかなかできません。合唱コンクールは、ただただ歌を歌うだけでなく、人と人とのつながりができる行事だということもわかってほしいと思います。



1年生



2年生



3年生